

平成29年度 学校法人静岡理工科大学 星陵中学校・高等学校 自己評価 学校評価 外部評価

外部評価

どのような学校を目指すのか	グローバルリーダーを育成し、地域有数の進学校となる			※評価は、以下の基準に従い、各項目ごとに5段階で客観的に評価してください。 5 : 最も良好 4 : ほぼ良好 3 : 普通 2 : やや不良 1 : 不良
基本方針	1 時代が求める人材を育成し、併せて高大接続改革へ対応する。 2 高大連携、高専一貫教育を推進し、法人内各学校との連携を深める。 3 地域有数の進学校となる。 4 健全な運営体質を維持する。			
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	本年度重点施策	達成状況	
◎学業成績優秀な生徒の入学と募集定員の確保ができた ◎質・量ともに満足できる進路実績を築くことができた ◎法人内各校へ優秀な生徒を送ることができた ◎オーストラリア・カナダの各学校と交流することができた ◎中高一貫教育について更なる充実を図ることができた ◎星陵流キャリア教育を展開できた ◎「主体的・対話的で深い学び」の学習形態のあり方を研究した	【入口目標】 ◎「質」・「量」とともに満足いく入学生の確保 【中身目標】 ◎グローバル教育・英語教育・ICT教育 アクティブラーニング・高大接続改革 法人内連携教育 【出口目標】 ◎県下ナンバーワンの実績	◎時代が求める人材を育成する ◎法人内入学数を増加させる ◎地域有数の進学校になる ◎健全な運営体質維持 ◎グローバル教育を展開する ◎21世紀型スキルが身につく教育を展開する ◎世界に発信できる授業の研究	目標達成 目標達成 目標達成 目標達成 目標達成 目標達成	

評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価		成果・次年度への主な課題	学校関係者評価				第三者評価				平均	
			評価	平均		評議員A	評議員B	評議員C	同窓会A	地域住民	市議	教授A	教授B		校長会A
総務部	21世紀スキルが身につく教育を展開する。	海外提携校との関係強化、拡大により、留学制度を再構築する。	4	4.0	カナダに続く留学候補地を早急に設ける。	5	2	5	4	4	4	4	4	5	4.1
	信頼の評価を高め、目標生徒数を獲得する。	国際理解教育を深め、海外の学生とITを使った交流を進める。 従来の広報媒体を精査し、「星陵アプリ」を活かした情報発信を行う。	4		4	アプリからの情報発信スピードを上げていく。 講座を含め改め教育サービスの再編成を実施する。	5	4	5	4	4	4	4	5	4.3
入試広報課	適切な広報に努め、学則定員を確保する。	時代への要請に適った教育を展開し、タイムリーに広報する。 地域や各種業界から情報を集め、早期に公立対策を講じ、実践する。	4	4.0	競合他校を想定した準備を進めていく。	4	5	5	4	4	5	5	5	5	4.7
総務課	学習・生活環境を整え、生徒が安心し、充実した学校生活を送れるようにする。	新規イベントを開催し地域からの信頼度を高め高校の定員400を確保する。	4		4.0	競合他校の巻き返しを想定し先手を打っていく。	4	5	5	4	4	5	5	5	5
		中学イベントの内容改善を行い中学校の定員60を確保する。	4	4		保護者の価値観の変化に対応した募集戦略を構築する。	4	5	5	4	4	5	5	5	5
図書課	図書コーナーを利用した教育活動の充実	式典や行事が円滑に進むよう内容を検討し実践する。	4	4.0	式典時の効率化を図り充実させる。	5	5	5	4	4	5	4	4	5	4.5
		スクールバスの運行管理を正確に行う。	4		4	日程に合わせた的確な時刻の設定を行う。	5	5	5	4	4	5	4	4	5
管理課	生徒が安心充実した学校生活を送るために学習・生活環境を整える。	メール配信の環境を整える。	4	4.0	保護者向けの連絡にメールを有効活用する。	4	5	5	4	4	5	4	4	5	4.5
		生徒の進路選択や学問選択に役立つ書籍を充実させる。	4		4	AL授業やICT活用に資する図書の充実させる。	4	5	5	4	4	5	4	4	5
グローバル教育推進課	グローバル社会を生き抜く人材育成に向けた教育を充実させる。	専門委員会の活動をととして、図書室の運営について生徒に学ばせる。	4	4.0	専門委員の仕事やボランティア活動の記録の実施方法を見直す。	4	5	5	4	4	5	4	4	5	4.4
		校内の整理整頓に心掛け、環境に対する意識の向上を図る。	4		4	環境に対する意識の向上と美化活動の呼びかけを行う。	5	4	5	4	4	5	4	4	5
教務部	教育改革にいち早く対応し、21世紀スキルを備えた人材を育成する。	各学期ごとに、登下校の通学路を中心に地域清掃を実施する。	4	4.0	校外清掃の実施によって、地域社会に貢献する。	5	4	5	4	4	5	4	4	5	4.4
		ICT機器の管理を行い、授業等で利用しやすい環境を整える。	4		4	ICT機器の保管を工夫し、利用環境の向上に努める。	5	4	5	4	4	5	4	4	5
教育相談課	生徒の安心、充実の学校生活を守るため、教育環境を整える。	豪州、カナダと新たな留学制度・内容を検討し、実施する。	4	4.0	新たな留学先、プログラム内容を拡充する。	5	3	5	4	4	4	4	4	5	4.2
		プログラムの事前事後研修を充実させ、英語による発表の場を設ける。	4		4	発表の場をより充実したものになるよう検討する。	5	3	5	4	4	4	4	4	5
教務課	高大接続改革を始めとした教育改革に対応する。	海外提携校から留学生を受け入れ、交流活動を行う。	4	4.0	プログラム内容を再検討し、より発展的な活動にする。	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4.2
		授業設計診断表・思考コードを活用した授業を展開する。	4		4	情報を常にキャッチし、方向性を確認した上で研究・研鑽に努める。	4	4	5	4	4	4	4	4	5
21世紀型スキル推進課	21世紀型スキルの育成のための環境整備と教育・研究活動を展開する。	教員のICTスキルを向上させ、授業・家庭学習に反映させる。	4	4.0	使う段階から学習効果を検証する段階まで昇華させる。	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4.2
		英検取得を主眼とした「20分の挑戦」を実施する。	4		4	取得率向上の新たな施策を検討する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
法人内連携教育推進課	連携教育をととして法人内専門学校・大学の魅力を校外に広く伝える。	主対深の学びを実現すべく、授業改善を推進する。	4	4.0	新学習指導要領への対応を検討する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.4
		毎月カウンセリングを実施し、生徒理解と指導に役立てる。	4		4	事前のカウンセリング受付票活用を継続して行う。	4	4	5	4	4	4	4	4	5
教科	入試改革を見据えた授業展開を試行して、スキルを開発していく。	研修内容を担任、学年に把握させる。	4	4.0	相談室記録簿の活用をする。	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		バイオメタンの教育・研究活動を実施し、成果を発信する。	5		4.5	他機関や地域との連携を強化した活動を展開する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
国語	入試改革を見据えた授業展開を試行して、スキルを開発していく。	ICT機器の利用促進や環境の整備を行う。	4	4.0	ICT機器の利用率の向上と実践例を充実させる。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.7
		出張講義やオープンキャンパスに参加し、専門学校・大学の活動を理解させる。	4		4	アンケートをもとに講義内容の検討を行い、充実させていく。	4	4	5	4	4	4	4	4	5
地公	授業研究・授業改善を図り、主・対・深の学びを実現する。	掲示版やTVを使用して、視覚的に訴え認知度を高める。	4	4.0	映像内容の更新回数を増やし、マンネリ化を防ぐ。	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		論理的思考力・判断力をつけるアクティブラーニング授業を展開する。	4		4.0	積極的にICTを活用し、深化していくことが必要。	4	4	5	4	4	4	4	4	5
数学	入試改革を見据えた授業展開を検討し行っていく。	知識の習得についても考えて修得する技法を試行する。	4	4.0	単純暗記学習から考えて覚える学習法への移行。	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4.2
		定期試験・入試問題において、思考力を測る問題を作成する。	5		4.5	歴史総合・公共などの新教科への対応を研究する。	5	4	5	4	5	4	4	4	5
理科	2020年の入試改革を考慮した教科の対策を検討する。	教科と実生活の接点を意識した授業展開に注力する。	4	4.0	教育改革に対応したシラバスを完成させる。	5	4	5	4	5	4	4	4	5	4.5
		生徒同士の対話を授業内で増やし論理的に相手に伝える力を養う。	4		4.0	各コースに適した指導法の検討を行う。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
理体	2020年の入試改革を考慮した教科の対策を検討する。	定期試験・入試問題に思考力を問う問題の出題を行う。	4	4.0	入試問題を分析し、受験に対応した授業を展開していく。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		論理的・批判的思考力を育成するアクティブラーニングを実践する。	4		4.0	物理・化学・生物の各分野での実践例を充実させる。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
美術	生涯に亘り運動に親しむ資質や能力、学校行事を通し、やり抜く力、GRITを育てる。	資料作成やプレゼンテーションなどの技能を育成する。	4	4.0	他教科との横断的な学習などを展開する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		ipadを活用し、生徒の意欲や協同性を高める授業を展開する。	4		4.0	体育、保健ともに授業でのICT活用を推進する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
書道	主体的に作品の制作に励む姿勢を育成する。	授業で体育祭、新体力テストに取り組ませ、行事の成功に繋げる。	4	4.0	体育祭練習に使う授業で、生徒の自発性を高めさせる。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		生徒自らアイデアを出し、計画的に作業を進める。	4		4.0	作業工程を一覧にして進捗状況を確認させる。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
英語	4技能をバランスよく育成する。	多くの芸術作品に触れることにより、インスピレーションを喚起させる。	4	4.0	デジタルコンテンツとの融合を図る。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		言葉・文字の持つ意味合いを理解することにより、書の制作に活かす。	4		4.0	協同して作品を作り上げる試みを行う。	5	3	5	4	4	4	4	4	5
家庭	生活との関わりを意識させ、生きる力を養う。	互いに評価し合い、書を評価する姿勢を養う。	4	4.0	互いに評価し合う際の着眼点を理解させる。	5	3	5	4	4	4	4	4	5	4.2
		アクティブラーニングを活用した授業を展開する。	4		4.0	教育改革に対応したシラバスを完成させ、定着させる。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
情報	生活との関わりを意識させ、生きる力を養う。	英検取得を意識した授業やテスト作成を実施する。	4	4.0	4技能をバランスよく育成する授業を英語科全体で展開する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		ニュースソースを活用し、教科と社会との関わりを意識させる。	4		4.0	生徒のプレゼンを重視し、伝える力を養成する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
情報	情報における21世紀スキルとリテラシーを培う。	自ら主体的に作品づくりを行う姿勢を培う。	4	4.0	教科と実生活の関わりを更に意識させる。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3
		生徒に考えさせ、判断できる素地を作る。	4		4.0	ICTスキルを更に高め、他教科や入試に活用する。	5	4	5	4	4	4	4	4	5
情報	情報における21世紀スキルとリテラシーを培う。	試験問題において、記述問題を増やし、表現力を磨く。	4	4.0	ICT関連のニュースや最新の情報を伝える。	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4.3

指導部	生徒・保護者の第一進路希望を叶える。	外部模試受験対策を実践する。	4	4.0	授業最優先指導を徹底させる。	4	4	5	4	4	4	4	4	4	5	4.2
		模試後の検討会を実施して事後指導を充実させる。	4		各教科における弱点克服強化策を検討させる。											
大学進学指導課	「結果にこだわる進学指導」を推進し、評価される進路実績をつくる。	計画的な受験指導戦略会議を実施する。	4	4.0	学年、教科による模擬試験の結果を分析する会議を常時実施する。	5	3	5	4	4	5	4	5	4	5	4.4
		AO、推薦入試を活かした生徒の学力に応じた受験指導を行う。	4		面接、小論、2次試験等の指導を検討する。											
		難関大学受験者の個別指導を図り生徒個々の学力を伸ばす。	4		不合格となった旧帝大の2次試験を総括する。											
進路課	信頼の外部評価を高める為、学校推薦による就職希望者の就職内定率100%を継続する。	企業懇談会へ参加し、情報収集に努める。	4	4.0	離職率を確認し生徒の現状に合った就職指導を行う。	5	4	5	4	4	5	4	4	4	5	4.4
		就職ガイダンスを通して、生徒の人的資質向上に努める。	4		企業が重要としている人材育成に努める。											
生徒指導課	「安全」・「安心」な学校生活が送れる環境の整備を行う。	いじめ調査・体罰調査のアンケートを実施する。	4	4.0	下校・自転車指導、校外指導等について継続的指導を行う。	5	5	5	4	4	4	4	4	4	5	4.4
		朝の正門指導、下校・自転車指導、校外指導を実施する。	4		いじめ等の問題を未然に防ぐ活動を充実させる。											
保健体育課	生徒の安心、充実の学校生活を守るため、教育環境を整える。	各グラウンド及び体育館の不具合を調査する。	4	4.0	安全に活動できる環境の整備ができた。	5	5	5	4	4	4	4	4	4	5	4.4
		生徒主体の体育祭の充実を図る。	4		早い時期から体育祭実行委員を募り、綿密な指導をする。											
中学部	知育・徳育・体育・美育により、心豊かな人間を育成する。21世紀型スキルを育成する。	探究学習・課題研究をPDC Aサイクルで実施する。	4	4.0	論理的な思考力・判断力・表現力の育成を継続する。	5	4	5	4	4	5	5	4	4	5	4.5
		グローバル教育・ICT教育・アクティブ・ラーニングを実践する。	4		変化（高大接続改革・教育改革）に対応した教育を展開する。											
高校1年部	進路実現に向けての基礎作りをする。	基本的な生活習慣を身に付けさせる。基礎学力の定着を図る。	4	4.0	科・コースの特徴の再確認と特徴を活かした指導をする。	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	4.3
		将来の夢や希望を明確にする。	4		入試の変化を分析し、対応できる生徒を育てる。											
高校2年部	学力・人間力等、自己を向上させる。	授業・進学講座を通じて時代が要求する学力を身に付ける。	4	4.0	採用試験・入学試験に対応できる学力を育てる。	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	4.3
		ホームルーム等の指導により高校生らしい生活習慣を身に付けさせる。	4		社会出てからも通用する人間力を育てる。											
高校3年部	生徒個々の強みを見せて進路実現に活かす。	模擬試験の結果を分析し、効果的な指導をする。	4	4.0	担任と各教科が連携した効率の良い指導を継続する。	4	4	5	4	5	4	5	4	4	5	4.4
		入試形態に合わせた準備・計画・指導を実施する。	4		変化する入試内容に迅速に対応する。											
			平均	4.0												
															平均	4.3

外部評価委員のコメント

・星陵中学校・高等学校は、新たな時代に相応しい教育目標を定め高い教養と人間の育成・個性をいかす教育を行っていることに対し、高く評価いたします。21世紀スキルを身につけるグローバル教育プログラムの中で自らを向上させるよう、素晴らしい学習環境が整っている中でその成果は、高い学力をはじめ地域との連携や各種大会でのスポーツ面や文化面（地域発表・書く部活動等）など様々な高い評価を得ています。中学生から環境に取り組む姿勢も素晴らしく文部大臣賞を頂く事も、その結果だと思えます。これも先生方の指導力と生徒の真剣に取り組む努力で、教育方針の徹底と生徒が自主的に行う事業の応援や協力を行うことができるよう保護者・地域・行政の力も重要と考えます。

・学校の努力が地域での高い評価につながっていると感じています。同窓会の支援を強化していきたいと考えます。

・人間性を尊重しながら、最先端のグローバル教育・ICT教育にも力を入れ、時代が求める視野の広いグローバル人材の育成に努めている点で評価できる。

・高い教育レベルへの進化、先生方の熱心な指導、相談体制、進学資料等の充実など、受験に対する総合的な対応も上がっており評価できる。

・校舎、グラウンド、武道館、生徒館、体育館等の施設や設備面で充実しており、良好な教育環境が整っていると評価できる。

・県内でナンバーワンの安定した入学者を確保できた。適切な広報と地域からの信頼度を高めた新規イベントを開催し、公立高校の巻き返しを想定し、先手先手を打ったことは高く評価できる。

・難関大学合格の為に、個別指導を図り生徒個々の学力を伸ばすことは今後も継続して取り組んでもらいたい。

・オーストラリア、カナダの各学校と交流し、グローバル社会のリーダー的人材育成に向けた教育を充実させる為に、海外提携校から留学生を受け入れ、交流活動のプログラム案を見直し、英語力の更なる向上に努めて下さい。

・安定した定員確保ができて、素晴らしいことです。